

【別添：騒音①】

環境騒音の調査結果と環境基準の比較について、調査地点のうちS-6は一般地域の「A地域」に指定されている。その他の地点については、類型指定がされていないため、調査地点付近の環境状況を考慮して、

- ・S-1 地点付近は住居のほかには事業所、工場が混在し、S-2 地点付近は住居のほかには事業所が混在することからB地域
- ・S-3、S-4、S-5、S-7 及び S-8 地点付近はA地域

の基準値を準用し、環境騒音の調査結果（表 10.1.1-8(1)）と環境基準を比較すると、以下に示すとおりすべての地点で環境基準(昼間 55 デシベル)以下となる。

表 10.1.1-8(1) 環境騒音(等価騒音レベル)の調査結果

調査地点	時間区分	調査結果(デシベル)				環境基準(参考)
		1日目	2日目	3日目	平均	
S-1	昼間	43	40	39	41	55
S-2	昼間	43	38	37	40	55
S-3	昼間	41	36	39	39	55
S-4	昼間	43	39	38	41	55
S-5	昼間	38	30	36	36	55
S-6	昼間	55	54	54	54	55
S-7	昼間	43	40	38	41	55
S-8	昼間	39	38	36	38	55

注)1. 時間区分:昼間6時~22時

2. 環境基準は、S-6はA地域に指定されている。その他の地点については類型指定がされていないため、調査地点付近の環境状況を考慮し、S-1、S-2はB地域、S-3、S-4、S-5、S-7、S-8はA地域の基準値を準用した。

【別添：騒音②】

道路交通騒音の予測結果と環境基準の比較について、予測地点のうち R-2 は一般地域の「A 地域」に指定されている。その他の地点については、類型指定がされていないため、予測地点付近の環境状況を考慮して、

- ・ R-1 地点付近には住居が点在するが事業所などの施設はない。また、対象道路の県道 192 号は車線区分がないため、一般地域の「A 地域」
- ・ R-2、R-3、R-4 地点は、幹線交通を担う道路に近接する空間。

の基準値を準用し、工事用資材等の搬出入車両の走行に伴う騒音の予測結果（表 10.1.1-14(1), (2)）と環境基準を比較すると、以下に示すとおりとなる。

※準備書からの見直し箇所を下線で示します。

対象事業実施区域及びその周囲は、環境基準の類型指定されていない地域があるが、工事用資材等の搬出入車両の走行ルートに住居等が存在することから、予測地点付近の環境状況を考慮して、R-1 地点は一般地域の A 地域の値(55 デシベル)、R-2～R-4 は幹線交通を担う道路に近接する空間の値（70 デシベル）を準用して、整合が図られているかを検討した。

工事用資材等の搬出入車両の走行に伴う騒音レベルの予測結果は、平日で 55～70 デシベル、土曜で 52～69 デシベルであり、基準又は目標との整合は図られているものと評価する。

表 10.1.1-14 (1) 道路交通騒音の予測結果(平日)

単位：デシベル

予測地点	対象道路	用途地域	環境基準の地域の類型	等価騒音レベル (L_{Aeq})					環境基準(参考)
				現況実測値 L_{gi} (一般車両) (a)	現況計算値 L_{ge} (一般車両)	将来計算値 L_{se} (一般車両+ 工事関係車両)	補正後 将来計算値 $L_{Aeq'}$ (一般車両+ 工事関係車両) (b)	工事関係車両による増加分 (b-a)	
R-1	県道 192号	—	—	55	57	57	55	0	55
R-2	県道 234号	第一種 低層	A地域	66	68	70	68	2	70
R-3	県道 234号	—	—	68	67	69	70	2	70
R-4	県道 234号	—	—	66	69	70	67	1	70

- 注) 1. 「—」は、用途地域又は環境基準の地域の類型指定がないことを示す。
 2. 環境基準(参考)は、調査地点付近の環境状況を考慮して、R-1は一般地域のA地域、R-2~R-4は幹線交通を担う道路に近接する空間の基準値を準用した。

表 10.1.1-14 (2) 道路交通騒音の予測結果(土曜)

単位：デシベル

予測地点	対象道路	用途地域	環境基準の地域の類型	等価騒音レベル (L_{Aeq})					環境基準(参考)
				現況実測値 L_{gi} (一般車両) (a)	現況計算値 L_{ge} (一般車両)	将来計算値 L_{se} (一般車両+ 工事関係車両)	補正後 将来計算値 $L_{Aeq'}$ (一般車両+ 工事関係車両) (b)	工事関係車両による増加分 (b-a)	
R-1	県道 192号	—	—	52	56	56	52	0	55
R-2	県道 234号	第一種 低層	A地域	66	67	69	68	2	70
R-3	県道 234号	—	—	67	66	68	69	2	70
R-4	県道 234号	—	—	66	67	69	68	2	70

- 注) 1. 「—」は、用途地域又は環境基準の地域の類型指定がないことを示す。
 2. 環境基準(参考)は、調査地点付近の環境状況を考慮して、R-1は一般地域のA地域、R-2~R-4は幹線交通を担う道路に近接する空間の基準値を準用した。

建設機械の稼働に係る騒音の予測結果と環境基準の比較について、予測地点のうちS-6は一般地域の「A地域」に指定されている。その他の地点については、類型指定がされていないため、予測地点付近の環境状況を考慮して、

- ・S-1 地点付近は住居のほかにも事業所、工場が混在し、S-2 地点付近は住居のほかにも事業所が混在することからB地域
- ・S-3、S-4、S-5、S-7 及びS-8 地点付近はA地域

の基準値を準用し、建設機械の稼働に伴う騒音の予測結果（表 10.1.1-18(1)）と環境基準を比較すると、以下に示すとおりとなる。

※準備書からの見直し箇所を下線で示します。

建設機械の稼働に伴う騒音レベルの予測結果は、表 10.1.1-18(1)に示すとおりである。なお、各予測地点の予測値については安全側を考慮し、予測対象時期の最大値を採用した。建設機械の稼働に伴う騒音レベルは、昼間 42～55 デシベルと予測される。

表 10.1.1-18(1) 建設機械の稼働に伴う等価騒音レベルの予測結果

単位：デシベル

予測地点	現況実測値 (L_{Aeq})	等価騒音レベルの予測結果 (L_{Aeq})			環境基準 (参考)
		寄与値 (a)	予測値 (b)	増加分 (b-a)	
S-1	41	47	48	7	55
S-2	40	49	50	10	
S-3	39	46	47	8	
S-4	41	48	49	8	
S-5	36	45	46	10	
S-6	54	46	55	1	
S-7	41	41	44	3	
S-8	38	40	42	4	

- 注) 1. 現況実測値及び予測値は、昼間(6～22時)の等価騒音レベル(L_{Aeq})である。
 2. 現況実測値は、昼間3日間平均値を用いた。
 3. 環境基準は、S-6はA地域に指定されている。その他の地点については類型指定がされていないため、調査地点付近の環境状況を考慮し、S-1、S-2はB地域、S-3、S-4、S-5、S-7、S-8はA地域の基準値を準用した。

対象事業実施区域及びその周囲は、環境基準の類型指定されていない地域があるため、予測地点付近の環境状況を考慮して、S-1、S-2 地点はB地域の、S-3、S-4、S-5、S-6、S-7、S-8 地点はA地域の環境基準(昼間：55 デシベル)を準用して整合が図られているかを検討した。

建設機械の稼働に伴う騒音レベルの予測結果は昼間 42～55 デシベルであり、基準又は目標値との整合は図られているものと評価する。

【別添：騒音③】

施設の稼働に伴う騒音の予測結果について、「欧州地域向けの環境騒音ガイドライン」（2018年、WHO 欧州事務局）（以下「WHO 欧州ガイドライン」という）を用いた場合の評価を以下に示す。

「WHO 欧州ガイドライン」では、風車騒音の平均的な騒音曝露に関する L_{den} の勧告値が 45 デシベルに設定されており、間帯補正等価騒音レベル (L_{den}) の予測結果は表 1 に示すとおりである。

施設の稼働に伴う時間帯補正等価騒音レベル (L_{den}) の予測値は、夏季で 46～63 デシベル、秋季で 33～44 デシベル、冬季で 33～46 デシベルと予測され、時間帯補正等価騒音レベル (L_{den}) の増加分は、夏季で 0 デシベル、秋季で 0～5 デシベル、冬季で 0～5 デシベルと予測される。

予測結果について、「WHO 欧州ガイドライン」（時間帯補正等価騒音レベル (L_{den}) 45 デシベル）と比較した場合、秋季はすべての地点で、冬季は S-7 地点を除く地点で勧告値以下になると予測される。また、夏季のすべての地点、冬季の S-7 地点では現況値が既に勧告値以上の騒音レベルとなっているが、風力発電機による増加分は 0 デシベルと予測される。

表 1(1) 施設の稼働に伴う騒音 (L_{den}) の予測結果 (夏季)

単位：デシベル

予測地点	時間帯補正等価騒音レベル (L_{den})			
	現況値	風力発電機 寄与値	予測値	増加分
S-1	52	37	52	0
S-2	62	37	62	0
S-3	46	34	46	0
S-4	57	38	57	0
S-5	59	32	59	0
S-7	59	24	59	0
S-8	63	26	63	0

表 1(2) 施設の稼働に伴う騒音 (L_{den}) の予測結果 (秋季)

単位：デシベル

予測地点	時間帯補正等価騒音レベル (L_{den})			
	現況値	風力発電機 寄与値	予測値	増加分
S-1	36	37	40	4
S-2	38	36	40	2
S-3	34	33	37	3
S-4	34	38	39	5
S-5	31	32	35	4
S-7	44	23	44	0
S-8	32	24	33	1

表 1(3) 施設の稼働に伴う騒音 (L_{den}) の予測結果 (冬季)

単位：デシベル

予測地点	時間帯補正等価騒音レベル(L_{den})			
	現況値	風力発電機 寄与値	予測値	増加分
S-1	40	33	41	1
S-2	39	33	40	1
S-3	36	29	37	1
S-4	31	34	36	5
S-5	32	28	33	1
S-7	46	19	46	0
S-8	34	20	34	0